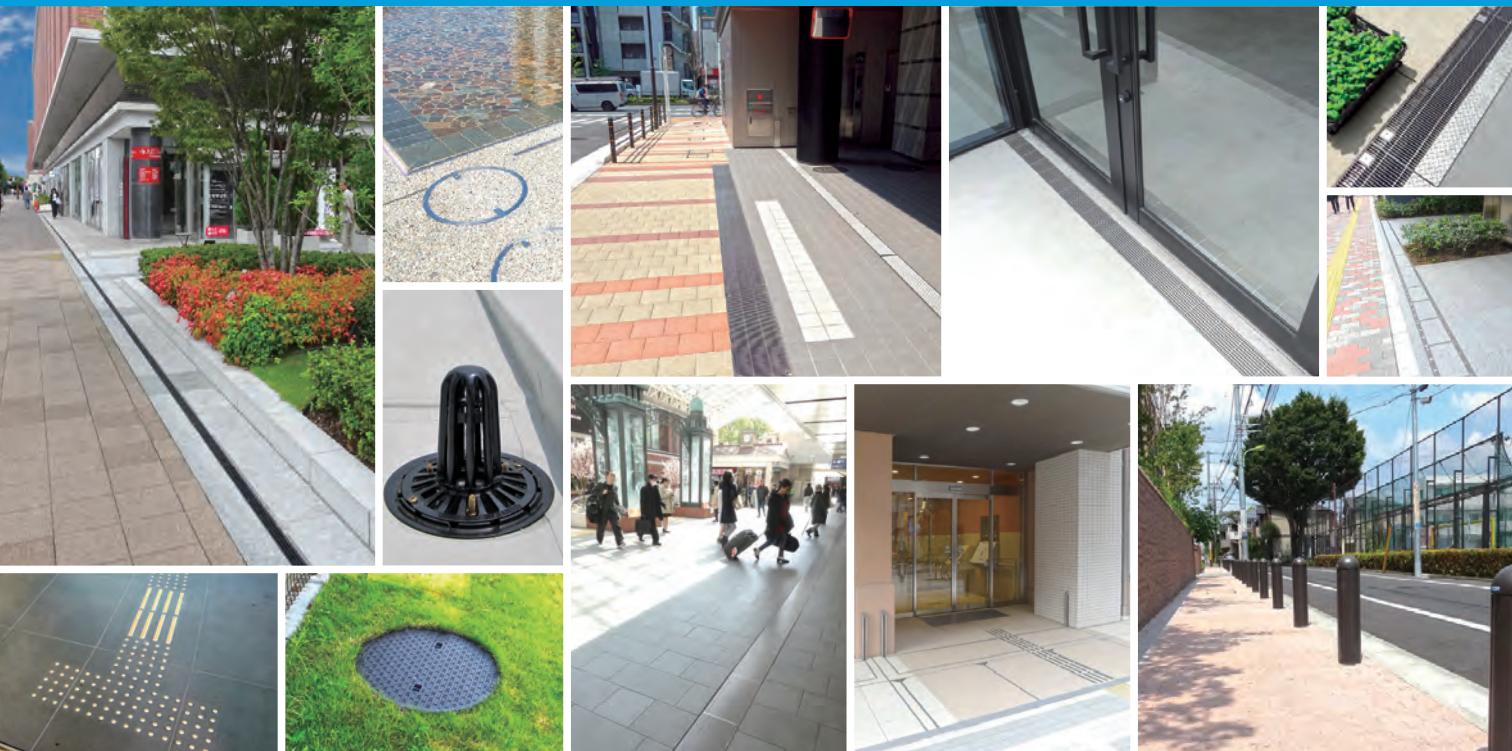


カネソウ株式会社

第42期 報告書

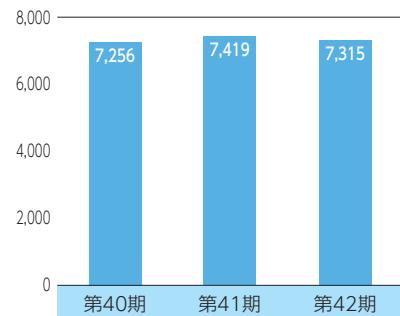
2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

証券コード ● 5979

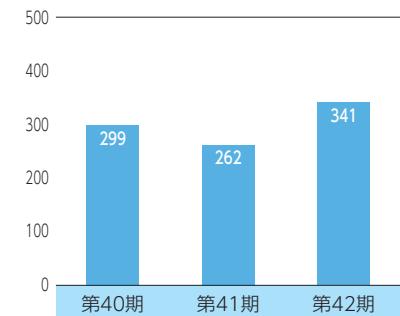


財務ハイライト

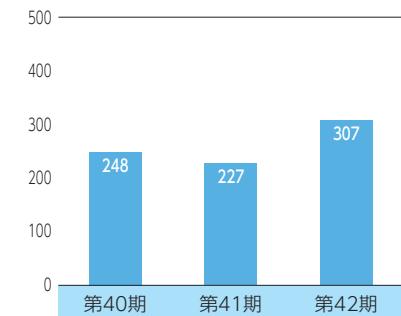
売上高 (百万円)



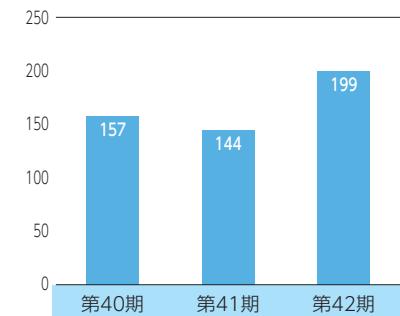
営業利益 (百万円)



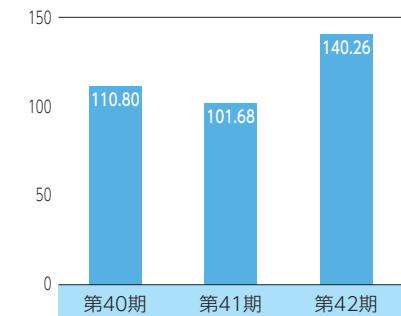
経常利益 (百万円)



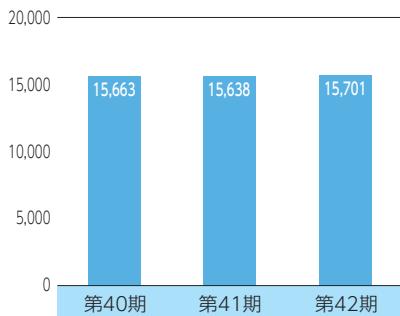
当期純利益 (百万円)



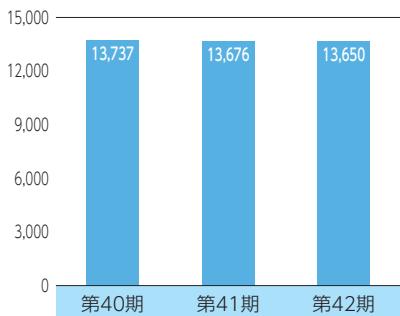
1株当たり当期純利益額 (円)



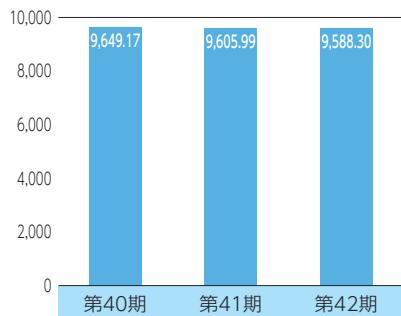
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産につきましては、第40期の期首に当該併合が行われたと仮定して表示しております。



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第42期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 近藤 健治

■事業の経過及び成果

当期における国内経済は、堅調に推移した企業業績や雇用状況を背景として、設備投資や個人消費が持ち直すなど、緩やかな景気回復基調を維持してきました。しかしながら、年度後半には、米国、中国の通商問題や欧州経済の諸問題等、世界情勢の不確実性が強まり、国内にも影響する懸念が高まり、全般に弱い動きとなり、先行きの不透明感が高まる状況となりました。こうした状況の中で、主要な需要先である建設関連市場におきましては、公共事業や都市部を中心とした民間建設工事など、建設需要に地域における偏在があるものの、総じて底堅く推移しました。一方で、高値が続く材料価格や、労働者不足の常態化を背景に、コスト環境が上昇するなど、取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。その結果、売上高は73億15百万円(前年同期比1.4%減)となりました。製品分類別における状況は次のとおりとなりました。

鋳鉄器材は、外構、街路関連工事が、堅調に推移し、外構・街路関連製品が増加したことと、雨水排水・防水関連製品も増加したことから、19億9百万円(同1.0%増)となりました。

スチール機材は、設備、街路工事関連が低調な状況が続く、外構・街路関連製品が、やや伸びを欠きましたことから、13億3百万円(同0.4%増)となりました。

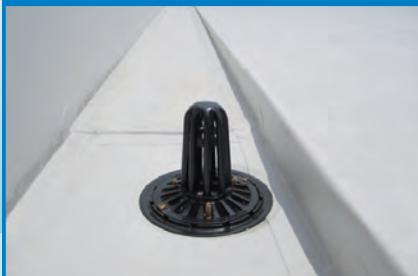
製作金物は、外構、街路工事関連が、堅調なことから、外構・街路関連製品が増加しましたが、建築工事関連が低調であったことから、建築金物が減少したことと、防災関連製品の納入が低位な状況となり、35億30百万円(同2.4%減)となりました。

その他は、公共投資がやや低調な状況が続きましたことから、土木需要が低下し、建機、機械向け製品の需要環境が低下してまいりましたことから、5億72百万円(同6.9%減)となりました。

利益につきましては、市場競争の激化が続く販売環境のもとで、材料価格の高値状態が続くなど、コスト環境は厳しい状況が続きました。こうした中で、販売価格の改善への取り組みを進めてまいりましたことから、原価率の改善につながることとなりました。その結果、売上総利益は24億45百万円(同6.2%増)となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、運送に係る費用が上昇するなど、諸経費負担は増加しましたが、営業利益は改善し、3億41百万円(同30.2%増)となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境のもと、収益の低い状況が続く中で、販売関係費用の改善に取り組んでまいりました。その結果、経常利益は3億7百万円(同35.4%増)となり、当期純利益は1億99百万円(同38.0%増)となりました。

快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレン

建築金物



フロアーハッチ



外構・街路関連製品



U字溝用スリットみぞ蓋

外構・街路関連製品



ステンレス製グレーチング

外構・街路関連製品



スチール製グレーチング

カネソウは歩みつづけます。

防災関連製品



EXジョイント免震構造建築用



建築金物



クリーンピット

外構・街路関連製品



車止め

外構・街路関連製品



マンホール鉄蓋

製品分類別の状況

鋳鉄器材

売上高 **1,909**百万円

前年同期比 **1.0%**増



- 主な製品
- ルーフドレン
- マンホール鉄蓋
- 車止め



ルーフドレン

スチール機材

売上高 **1,303**百万円

前年同期比 **0.4%**増



- 主な製品
- スチール製グレーチング
- カラージェーチング



スチール製グレーチング

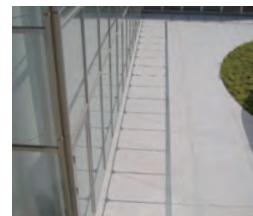
製作金物

売上高 **3,530**百万円

前年同期比 **2.4%**減



- 主な製品
- ステンレス製グレーチング
- クリーンピット
- フローアハッチ
- EXジョイント免震構造建築用
- U字溝用スリットみぞ蓋
- カラー舗装用みぞ蓋
- たてとい



EXジョイント

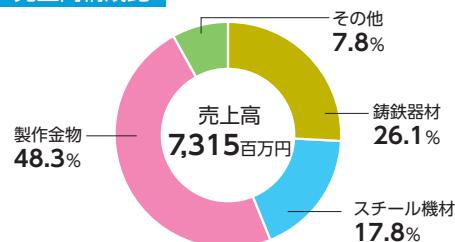
その他

売上高 **572**百万円

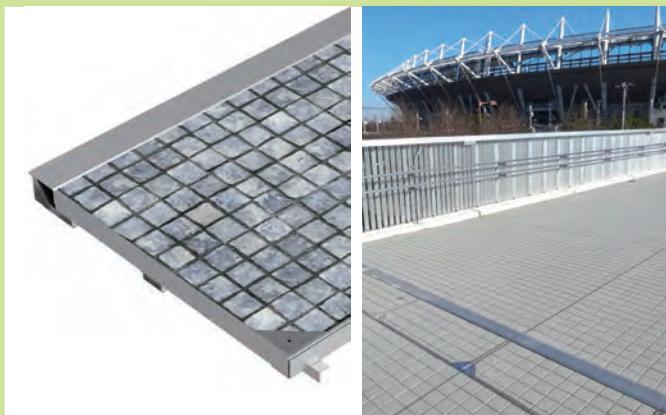
前年同期比 **6.9%**減



売上高構成比



新製品及び設備のご紹介



EXジョイント人工地盤用 変位性能100%タイプ

X方向の変位性能100%のせり上がり式エキスパンションジョイントです。ペDESTリアンデッキ等の人工地盤部でご使用いただけるタイル充填用と、立体駐車場の出入口などでご使用いただけるスチール編鋼板製を取り揃えました。



EXジョイント免震構造建築用 振動台試験装置

免震エキスパンションジョイントの性能試験を行い、一般社団法人日本免震構造協会のガイドラインに基づく性能を提供します。3次元振動台を1基、2次元振動台を2基導入し、開発段階での挙動確認や、振動試験から得た知見を製品開発に活かします。



カラー舗装用鉄蓋 ローラースライド開閉式

蓋のスライド開閉作業がスムーズに行える、ローラースライド構造で蓋の開閉作業がより安全に行えます。スロープ部の中央に水平面を設けることで、蓋を引き上げる際は負担を軽減し、蓋を閉じる際は、勢いよく蓋がスロープを降下することを防止します。

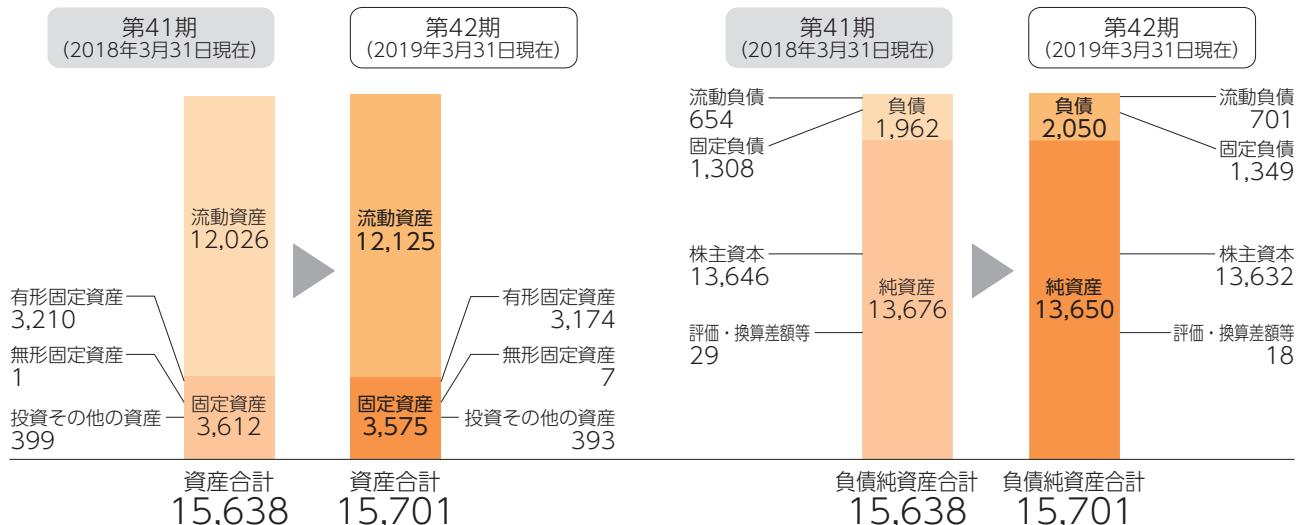


スマートスリット (鋼製溝付スリットみぞ蓋)

建物出入口部や敷地境界部に最適な鋼製溝付のスリットみぞ蓋です。ゴミが入りにくく、ゴミ詰まりしにくいステンレス製Tバーをメインバーに採用し、軽量で取扱い易く、工期短縮が可能で、コストパフォーマンスに優れます。

貸借対照表の概要

(百万円)



■ 財政状態について

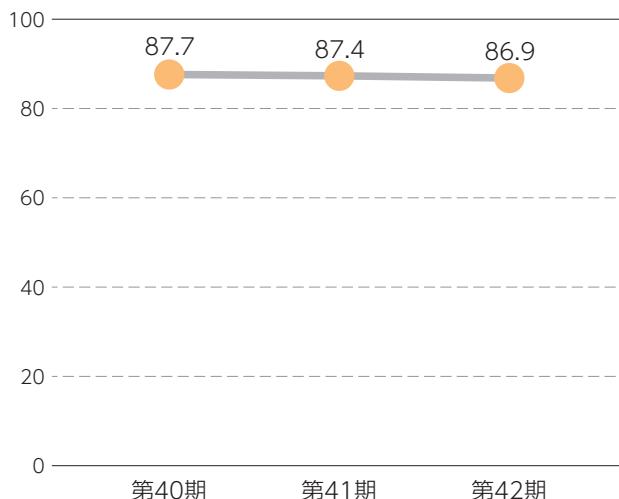
資産総額は157億1百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が4億73百万円、機械及び装置が70百万円、投資有価証券が15百万円それぞれ減少しましたが、有価証券が6億円、たな卸資産が14百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は20億50百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に、流動負債が46百万円、固定負債が41百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は136億50百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは利益剰余金について、当期純利益の計上が1億99百万円ありましたが、剰余金の配当が2億13百万円、その他有価証券評価差額金の減少が11百万円あったことによるものであります。

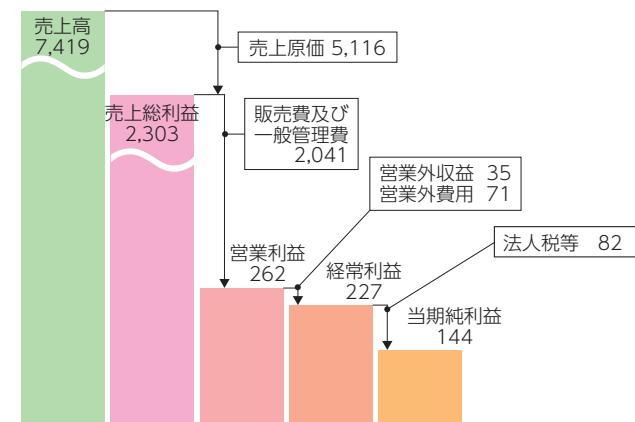
自己資本比率の推移

(%)

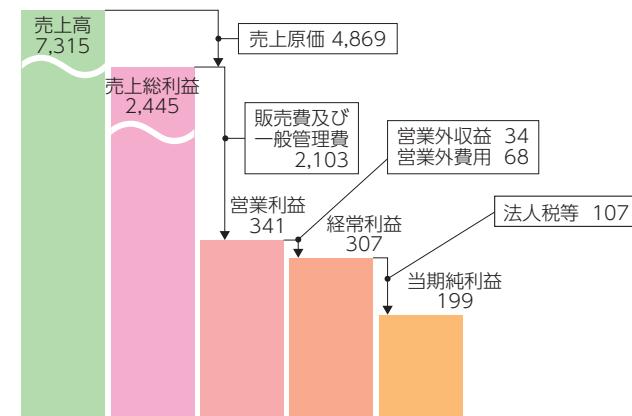


損益計算書の概要

(百万円)



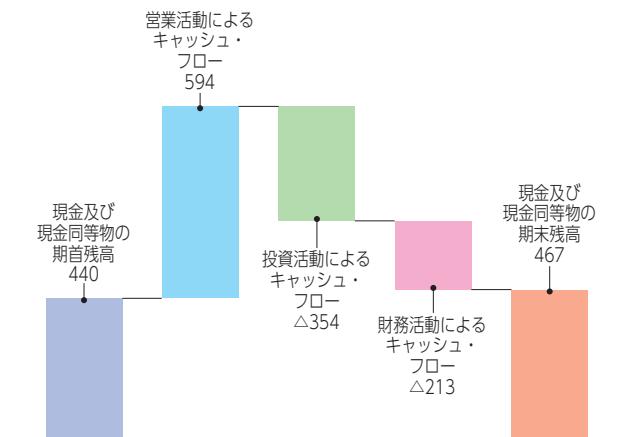
第41期
(2017年4月1日から2018年3月31日まで)



第42期
(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



第42期
(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、5億94百万円(前期比2億18百万円の収入増)となりました。

これは主に、法人税等の支払額が79百万円、仕入債務の減少が23百万円、たな卸資産の増加が14百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が3億7百万円、減価償却費の計上が2億72百万円、売上債権の減少が45百万円あったこと等によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、3億54百万円(前期比2億21百万円の支出増)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が84億円ありましたが、定期預金の預入による支出が79億円、有価証券の取得による支出が6億円、有形固定資産の取得による支出が2億44百万円あったこと等によるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億13百万円(前期比1百万円の支出減)となりました。

これは、配当金の支払が2億13百万円あったことによるものであります。

当社の概要

商号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電話番号	(059) 377-4747 (代表)
設立	昭和54年10月23日
資本金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従業員数	237名

役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役名誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	近藤 健治
専務取締役	南川 智之
常務取締役	福田 昭人
常務取締役	清水 竜生
常務取締役	豊田 悟志
取締役	石川 文和
取締役	伊藤 博幸
取締役	山田 耕二
取締役	松田 洋一
取締役(監査等委員)	水谷 篤夫
取締役(監査等委員)	木原 昌弥
取締役(監査等委員)	山田 康之

(注) 取締役(監査等委員)木原昌弥及び山田康之の両氏は、社外取締役であります。

事業所



① 本 社 朝 日 工 場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東 京 支 店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大 阪 営 業 所	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目3番10号 信濃橋富士ビル10F
④ 仙 台 営 業 所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福 岡 営 業 所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	1,423,710株
株主数	558名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
小林鑄造有限会社	375,000	26.33
小林正和	315,000	22.12
小林昭三	100,000	7.02
小林誠子	100,000	7.02
小林裕和	100,000	7.02
榊原静枝	45,000	3.16
神谷布左子	45,000	3.16
牧野弘和	24,800	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,300	1.14
株式会社三菱UFJ銀行	15,600	1.09
株式会社百五銀行	15,600	1.09

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式16,290株があります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

